

《巻頭言》

“Métier” Vol.8 発刊にあたって

校長 深谷 浩一

このたび、本校の紀要“Métier（メティエ）” Vol.8 を刊行できますこと、たいへん嬉しく思うとともに、刊行に至るまでに、ご協力いただきました多くの先生方に心より感謝申し上げます。

この“Métier”は、平成22年3月、本校第十代校長萩野谷悟氏のもとで、「各教員の研究・実践を互いに共有し、本校教育における『知』のネットワークを構築すること、そしてそれによって各教員の資質や指導力の向上を図り、学校力の向上を図る」（“Métier” Vol.1《巻頭言》より。）ことを目的として創刊されたものです。

“Métier”とは、「良い仕事」という意味で、教員とは、専門的な知識・技術をもつ、いわば職人であることから、「専門性の高いプロの教員が同業者として互いに切磋琢磨し、知識・技術を向上させ、『良い仕事』を本校の教育活動の中で実践していく。そんな願いを、私たち教員のプロとしての誇りとともにタイトルに込めた」（萩野谷氏）ものです。

また、「『知』のネットワークを構築する」という目的は、その後、「『知』の中央へ！」という本校のキャッチフレーズとして、萩野谷校長によって羽鳥駅に掲げられました。そして、現在は、校門のところにも“Welcome to Chuo High School-the Center of Virtue”という英字を添えた横断幕が掲げられています。

さて、今回の“Métier” Vol.8 には、今年度（平成30年度）夏の県大会で野球部を十年ぶりにベスト8に導いた塚田監督や1月の韓国研修を引率した赤井先生、今年度初任者として教員1年目を終えた大崎先生など、総勢16名の先生方による珠玉の原稿が収められています。その中には、昨年7月まで4年間本校に勤務し、今は母国の南アフリカのヨハネスブルクで生活している、ALTのシェイナ先生の貴重な原稿も含まれています。執筆いただいた先生方にお礼を申し上げますとともに、この“Métier”をとおして、多くの皆様方に、本校教育の日々の取り組みを知っていただければ幸いです。

最後に、今後とも、地域で愛され、社会で必要とされる自律した人間の育成をめざして、より一層邁進するとともに、地域の中の中央高校として魅力ある学校づくりに、教職員一同努めてまいる所存ですので、本校に対する変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。第8巻の「巻頭言」といたします。